

古代の儀式と全国の博物館によるワークショップを楽しむ 1 日 「第 34 回大中遺跡まつり」開催



播磨町は、2026 年 11 月 7 日（土）、播磨大中国古代の村（大中遺跡公園）を会場に「第 34 回大中遺跡まつり」を開催します。古代の雰囲気を感じられる行列や火起こしの儀をはじめ、日本各地の博物館等によるワークショップ、ステージイベント、飲食・物販ブースなどを通して、子どもから大人まで楽しみながら大中遺跡や播磨町の歴史・文化に親しめるイベントです。

古代の世界を感じる行列と火の儀式

まつりの見どころは、「ヒコミコの古代行列」「使者の行列」「火起こしの儀」「火納めの儀」。古代を思わせる装いの行列や、火を起こす儀式が会場を彩ります。大中遺跡の風景とともに、古代の暮らしや文化に思いを巡らせるひとときをお楽しみいただけます。

過去の大中遺跡まつりの様子



<報道関係の方からのお問い合わせ先>

第 34 回大中遺跡まつり事務局(株式会社 i-Link 大阪オフィス)：坂口・伊藤 TEL：06-6684-9260

播磨町協働推進課：TEL079-435-0565

日本各地の博物館等が集結 古代の暮らしに触れる古代体験ブース

関西を中心に日本各地の博物館が集まり、それぞれの特色を生かしたワークショップを開催します。

歴史を「見る」「聞く」だけでなく、自分の手を動かしながら考え、古代の暮らしや知恵に触れられる、大中遺跡まつりならではの体験エリアです。

「昔の人は、どんな道具を使っていたの?」「身近な材料から、どうやってものを作ったの?」——そんな子どもたちの疑問や好奇心を入口に、体験を通して歴史への関心を育み、ものづくりの面白さに出会うことができます。博物館のスタッフとの交流も楽しみの一つ。

※古代体験ブースは 10 時から 15 時まで開催します。

ふるさと PR 大使が出演するステージと会場を巡る楽しみ

ステージイベントには、播磨町ふるさと PR 大使のレイザーラモン HG さん、岡部祐希さん、望月雅友さんが出演します。会場には 26 店舗のキッチンカーや飲食ブース、9 店舗の物販ブースが出店。

さらに会場内には重ね捺しで絵柄が完成するスタンプラリーがあり、スタンプを重ね捺して出来た台紙はそのままポストカードとして使用できます。

またスタンプラリー先着 500 名には大中遺跡まつりオリジナルのジュートスクエアバッグをプレゼント。

イベントのフィナーレには町内で使えるグルメチケットなどの豪華景品が当たる抽選会も実施。



播磨町ふるさと大使
レイザーラモン HG さん



播磨町ふるさと大使
岡部祐希さん



播磨町ふるさと大使
望月雅友さん



開催概要

名称：第 34 回大中遺跡まつり

日時：2026 年 11 月 7 日（土）9:00～16:00 ※小雨決行・荒天中止

（古代体験ブースは 10:00～15:00、兵庫県立考古博物館は当日入場無料。）

会場：播磨大中国古代の村（大中遺跡公園）・兵庫県立考古博物館

主催：播磨町、播磨町教育委員会 共催：兵庫県立考古博物館

後援：神戸新聞社、BAN-BAN ネットワークス株式会社

交通：当日巡回バスあり ※時刻表は播磨町ホームページをご確認ください。

臨時駐車場：蓮池小学校グラウンド（駐車台数に限りがございます）

<報道関係の方からのお問い合わせ先>

第 34 回大中遺跡まつり事務局(株式会社 i-Link 大阪オフィス)：坂口・伊藤 TEL：06-6684-9260

播磨町協働推進課：TEL079-435-0565